

第4回産業日本語研究会シンポジウム
平成25年3月1日(金)

特許版・産業日本語の取り組み紹介

ー 特許ライティングマニュアル ー

平成25年3月1日

(財)日本特許情報機構 調査研究部長

松田 成正 (Shigemasa MATSUDA)



一般財団法人

日本特許情報機構

Japan Patent Information Organization

「特許版・産業日本語」とは

1. 「産業日本語」…造語

定義(コンセプト)は…「人、コンピュータ両方に明晰な日本語」

産業・技術情報を人に理解しやすく、かつ、
コンピュータにも処理しやすく表現するための日本語



産業日本語プロジェクトの目的

- (1) 翻訳における品質と効率の向上
- (2) 正確かつ円滑な情報発信力の強化
- (3) 知的生産性の向上

2. 「特許版・産業日本語」

「産業日本語」のうち、特許明細書への応用に関するもの

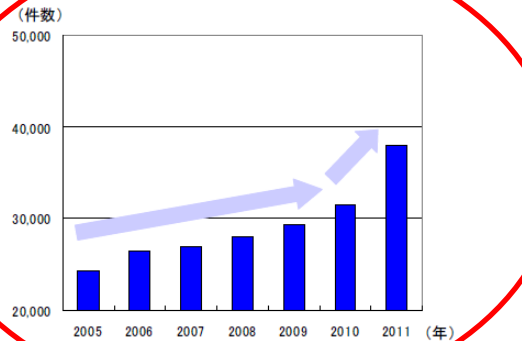
「特許版・産業日本語」の背景 ～例えば、海外への出願等～

我が国企業の海外への出願推移



- 企業の海外展開に伴い、我が国企業は、特許・意匠・商標ともに、海外への出願を増加させている。
- 日本国特許庁においても、我が国企業による海外出願増加を踏まえた対応が必要。

日本からの国際特許(PCT)出願件数の推移



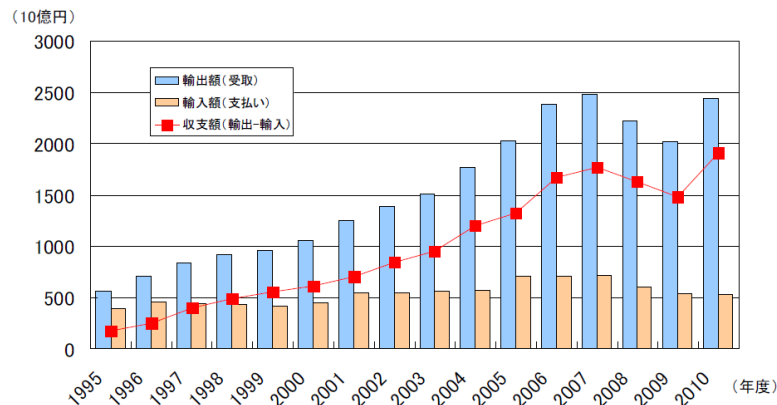
出願件数(本国官庁)
(倍) 1,800

我が国出願人の海外への意匠出願件数の推移

我が国の技術貿易収支の推移



- 我が国企業の技術的優位性等を背景として、我が国の技術貿易収支黒字は拡大。年間2兆円規模に。
- 我が国経済・産業が海外からの収益を維持・拡大していく観点から、グローバル市場においてさらに知財権を活用していくことが重要ではないか。



「特許版・産業日本語」の検討体制

検討体制

- 知財(特許)の専門家(企業の知財部、弁理士)
- 機械翻訳・特許翻訳の専門家
- 自然言語処理・情報工学の専門家
- 特許情報の専門家



委員会を組織し、専門家が知恵を出し合って検討(平成19年～)

「特許版・産業日本語」の取り組み

平成24年度

①特許ライティングマニュアル作成

「－特許ライティングマニュアル－」

②特許オントロジー、図式表現の検討成果を整理

「－図式クレームに基づく請求項文ライティング(構造化レベル)－」

「－図式クレームに基づく請求項文ライティング(オントロジー化レベル)－」

③特許ライティング支援システムを活用した支援機能をまとめる

「－総合的な特許ライティング支援環境－」

「特許ライティングマニュアル」とは

(役割・目的)

- 人による特許明細書作成実務を**ガイド**
- コンピュータによる特許ライティング支援機能を実現する**基礎データ**

「文書(document)」
特有の構造・構成

構造の改善の観点
明細書の項目(詳細な説明など)
に応じた記載内容、推奨表現

「文章(text)」

言語(日本語、英語、中国語など)が
まとまりのある情報を表現する単位

明晰性の改善の観点
例、長文の分割、係り受けの改善

用語、用字の統一
- 表記統一の観点



「言い換え規則」

特許「文章」の明晰性の改善の観点 ~「言い換え規則」~

「言い換え規則」の抽出方法

「検討体制」メンバー(知財、特許翻訳、機械翻訳、情報工学等の専門家)による作業



文書変換のプロセス

→日本語から日本語への翻訳

内容の同一性を保つ変換

人がより理解しやすい「言い換え規則」の抽出

翻訳(機械翻訳含む)の適用

→日本語から英語への翻訳

「翻訳用原稿」を訳した結果

訳質が改善する「言い換え規則」の抽出

「言い換え規則」の例

1. 長文「分かりにくい」を避ける。
2. 不整列「雑然とした並び」を避ける。
3. 省略「落とし穴」を避ける。
4. 多義「どの意味なの？」を避ける。
5. 非論理的「信号がない」を避ける。
6. 非均質並立表現「ばらつき」を避ける。
7. 冗長「蛇行しすぎ」を避ける。
8. 難解「??」を避ける。

1. 長文「分かりにくい」を避ける。 ～具体例～

★ルール：長文を連文(複数の短文)にし、各文の因果関係が明確になるよう言い換える。

【改善例】 長文は、連文(複数の短文)に！

・「～ものであることから、課題を解決できる。」

→「～ものである。そのため、課題を解決できる。」

★ルール：長文で列挙される要素について、その説明を後続の文で行うよう言い換える。

【改善例】 長文で列挙される要素は、説明を後続文で！

・「本発明は、～であって、セル表面にレジストを塗布する塗布工程を備えることを特徴とする。」

→「本発明は、～であって、塗布工程を備えることを特徴とする。塗布工程では、セル表面にレジストを塗布する。」

2. 不整列「雑然とした並び」を避ける。～具体例～

★ルール：主題成分を先頭に配置し明示する構文に言い換える。

【改善例】 <主題成分>を先頭へ！

- ・「分量に応じて**容器は**収縮し」
→「**容器は**分量に応じて収縮し」

★ルール：修飾要素を被修飾要素の近くに置く表現に言い換える。

【改善例】 <修飾要素>を<被修飾要素>の近くに！

- ・ 「**部品と**搬送時に**接触する**」 → 「搬送時に**部品と**接触する」
 <修飾> <被修飾> <修飾><被修飾>

「言い換え規則」の例 ～まとめ～

1. 長文「分かりにくい」を避ける。 → 文は短く。
2. 不整列「雑然とした並び」を避ける。 → 適切な順番に
3. 省略「落とし穴」を避ける。 → 省略せず明示
4. 多義「どの意味なの？」を避ける。 → 一意にとれる表現で
5. 非論理的「信号がない」を避ける。 → 読点による成分の明示
6. 非均質並立表現「ばらつき」を避ける。 → 表現揃え
7. 冗長「蛇行しすぎ」を避ける。 → 簡潔な表現で
8. 難解「??」を避ける。 → 平易な表現で

「特許版・産業日本語」の取り組み

平成24年度

①特許ライティングマニュアル作成

「－特許ライティングマニュアル－」

②特許オントロジー、図式表現の検討成果を整理

「－図式クレームに基づく請求項文ライティング(構造化レベル)－」

「－図式クレームに基づく請求項文ライティング(オントロジー化レベル)－」

③特許ライティング支援システムを活用した支援機能をまとめる

「－総合的な特許ライティング支援環境－」

特許版・産業日本語の取り組み紹介
－ 特許ライティングマニュアル －

ご清聴ありがとうございました。



(財)日本特許情報機構
松田 成正

E-mail : shigemasa_matsuda@japio.or.jp
URL : <http://www.japio.or.jp/>



一般財団法人

日本特許情報機構

Japan Patent Information Organization